



学校創立142周年

百年松

阿木名小中学校便り 令和3年9月26日発行

◇校訓「かしこく やさしく たくましく」
あ 明るく元気なあいさつができる子ども
ぎ ぎりぎりまであきらめず努力する子ども
な 仲よく笑顔いっぱいの子ども
 ~花いっぱい、元気いっぱい、笑顔あふれる阿木名っ子~



一生懸命はかっこいい！

校長 井上 泉



「気炎万丈 ~阿木名っ子 熱い心で 優勝めざせ~」のスローガンのもと、阿木名小中学校の「秋季大運動会」が無事終了。今年は台風14号の影響を受け、日程の順延や当日の準備等、慌ただしい中での1日となりました。保護者の皆様には、早朝よりグラウンド整備や閉会式終了後の片付け等にご協力いただきありがとうございました。おかげさまで、スムーズに開会することができ、楽しい1日となりました。グラウンドで躍動する子どもたちの姿にその苦労も吹っ飛んでしまいました。

そして、今年は思い切って入場制限を緩和し、地域種目も実施し、多くの皆様方と秋季大運動会を楽しみました。コロナ感染対策のため、消毒やマスク着用・検温・密を避けるなどの取り組みにも協力をいただき、感謝申し上げます。

その中で子どもたちは、自分たちができる精一杯のパフォーマンスを披露してくれました。目の前のことに一生懸命な小学校1年生から、阿木名校の最高指揮者としての中学校3年生の動きには、目を見張るものがありました。

見応えのある種目として、小学校1年生から中学校3年生までの紅白全員リレーがありました。バトンを渡す側、受け取る側の表情は必死で、自分のチームのために頑張ろうとする気持ちがあふれ、応援する姿も真剣そのものでした。走力のあるなしにかかわらず、阿木名校が一つになった瞬間でした。

まだ暑さの残る校庭で応援の練習を繰り返していた姿や、元気いっぱいのソーラン節、かけっこやリレーの練習など、当日までのこの練習時間こそ大切な時間でした。人数が少ない中、競技に出場したり、役員として裏方に回ったりと大活躍する姿に、たくましさを感じ、やはり学校行事が子どもたちをぐんと成長させてくれるのだと、改めて感じた日になりました。

これからの子どもたちのますますの活躍に期待しています。一生懸命はかっこいい！

コロナのため応援にも制限のある中、温かい声援を送っていただきました保護者・地域の皆様、ありがとうございました。また、夏休み中の奉仕作業へのご協力や、地域の方々のご支援で、砂の提供・校庭の整地等、素晴らしい環境の下で運動会が実施できましたことに、心から感謝申し上げます。



目立たないことをしっかりやることは、スターであることより重要だ！



アメリカの大リーグのスカウトマンが言ったことばです。チームとして質の高い集団を作り上げるには、スター選手がたくさんいてもダメ。それよりもひとつひとつのことを、しっかりやり遂げる普通の選手がたくさんいた方がいいということです。

2学期に入り大きな行事の一つ、運動会も終わり、季節はしのぎやすい時期になります。暑い夏を乗り越えた分、体もぐんとたくましく、学習にも目標をもちはじめ、力がつくときでもあります。この時期に当たり前のことが当たり前にできる、阿木名校の子どもたちであってほしいと願います。81名のスター選手よりも、さりげなく、気のつく81名であることを望みます。